

**令和3年4月24日（土）**

**全国知事会 新型コロナウイルス緊急対策本部（第21回）における丸山知事  
発言（要旨）**

**1. 補正予算の編成について**

飲食業を中心とする状況は、大変厳しいので、引き続き早急な対策をお願いしたい。

（提言の）5 ページ目の冒頭のところで、大胆な経済対策を実施することを明記していただいていることに感謝申し上げます。

ただ、現実の政治日程で申し上げますと、経済対策の策定、そして補正予算の編成、そしてその成立ということが必要になるが、現在の通常国会の会期は6月16日までとなっており、ゴールデンウィーク明けて、1ヶ月あまりしかないという状況。（補正予算の成立に向けては）本当にぎりぎりか、もう、ちょっと間に合わないぐらいの状況かと思っている。

（今国会で）補正予算の編成までしていただかないと、（次の）臨時国会を待つのかという話になるので、6月25日告示、7月4日投開票の都議選や7月開催のオリンピックの関係で、通常国会の大幅な延長は難しいという予想がなされているが、そういった場合ではないのはいないか。

よって、（提言の）「大胆な経済対策」のところに、「現在の会期を前提とせず、延長も含めて、大胆な経済対策の実施と、補正予算の編成を行うこと」という文言を、是非とも明記していただきたい。

**2. 家庭内感染防止について**

（今回の）緊急事態宣言を受けて、昨年末を思い出す。長期休暇に向けて、自粛をお願いするということは、年末年始で経験をしている。

詳細なデータがあるのが東京都だけなので、東京都の数字を申し上げますと、12月29日から1月4日までの1週間で、感染経路がわかっている濃厚接触者が2111人。そのうち、同居の家庭の方が47.7%で、1007人であった。

それが、翌週1月5日から11日の間での濃厚接触者は4416人。うち同居家族が57.2%で、2526人。その翌週も、1月12日から18日でトータル4369人おられて、うち同居が56.6%、2473人である。

家庭内の感染が、長期休暇に入って（約）2.5倍になっている。変異株により、家庭内の感染が今までは家庭の半分ぐらいだったのが、いっぺんにもう全員になっているといった話もよく伺うが、本当に家庭の中（での感染）は仕方ないと諦めて、長期休暇に入っているのかどうか。

やはり、社会活動の機会が多いお父さんやお母さん、（外の方との）接触の多い方については、自宅でおられる時の、他者に感染させないような注意事項を含めて対策を実施しないと、長期休暇、ゴールデンウィーク期間中に家庭内での感染が急増するという、年末の状況が再現される恐れがある。そうならないよう、改めて政府の分科会なり関係の都道府県で検討していただく必要があるのではないか、と思っている。